

市民活動サポートセンター いなぎ

ニュースレター

No.46

2014.6.15

発行/NPO法人

市民活動サポートセンターいなぎ

事務局/〒206-0802

稲城市東長沼2112-1

稲城市地域振興プラザ1F

市民活動サポートセンター内

電話042-378-2112

FAX042-378-6971

E-mail:info@i-inagi-support.org

http://www.i-inagi-support.org/

市民活動サポートセンターいなぎ

2014年度の年間事業計画

サポートセンターでは今年度も下記のように、様々な事業を予定しています。詳しい内容については、その都度広報いなぎ等でお知らせします。

これから実施する事業が沢山ありますので、みなさんの活動にお役立てください。多くのご参加をお待ちしています。

●はすでに終了している事業です。

サポートセンターを
お気軽に活用ください。

事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
I. 市民活動相互交流のための事業												
市民活動フォーラム2014									○			
市民活動団体との協働事業	●	●			(年6回程度)							
金曜サロンスペシャル	●		●	○		○	○	○	○	○	○	○
II. 市民活動のための情報収集と提供												
ニュースレターの発行			●			○		○			○	
ホームページの運営					(常時運営)							
III. 市民活動を支援するための事業												
NPO講座の開催					(2回を予定)							
市民提案の講座の開催					(2~3回)							
市民活動団体への講師の派遣と相談事業					(随時)							
市民活動支援基金による資金助成			●		(決定済み)							
IV. 他団体と協働して行う事業												
手づくり市民まつりへの参加		●										
Iのまちいなぎ市民祭への参加							○					
ハッピーリタイアメント講座							○	(または11月)				
行政との協働講座											○	
V. 施設等の利用提供事業												
ミーティングコーナー					(通年)							
印刷機、紙折機、パソコンなど					(通年)							
VI. 調査研究等												
「まちの縁側」稲城版の作成					(通年)							

● 知恵と力を集めて 稲城を盛り上げよう!

市民の手づくりイベントが次々と・・・

(2～3ページの執筆：種田)

いま、稲城が熱い!

稲城の街を盛り上げよう、稲城の良さを広めよう、稲城の人と人をつなげていこう、そんな志を抱いた人たちが次々と行動を起こしています。

この春だけでも、恒例の「稲城手づくり市民まつり」をはじめ、大丸用水とれんげの花を中心にした「第1回大丸用水れんげまつり」、南山で自然と音楽を満喫する「いなぎ森フェス2014」など、企画から運営まで有志の手づくりによるイベントが開催され、いずれも主催側の予想を大きく上回る来場者を集めました。

初めから行政の支援を期待するのではなく、一人一人の知恵と力を集めて「思い」を実現していく。市民活動サポートセンターいなぎは、そんな皆さんをつなげたり、一緒に汗をかきながら、これからも支援していきます!

第1回 大丸用水れんげまつり

300年以上前の江戸時代に、水田へ水を供給するため掘られた大丸用水は、9本の幹線水路と約200本の小堀からなり、総延長は70kmにも及ぶ稲城の文化遺産です。

れんげまつりは、この貴重な遺産を広く知ってもらい、水田と用水の風景を永く後世に遺していくために企画され、4月29日に開催されました。

花を摘んだり、スケッチを描いたり、写真を撮ったり。田んぼ一面に咲き広がったれんげを、思い思いに堪能する

参加者。その脇では、お子さんを連れのお父さんが、地域の先輩から草笛や竹とんぼを教わるなど、世代間交流が活発に行われていました。

ステージでは、稲城三小や六小の子どもたち、稲城の童謡を歌う会、友遊くらぶ、大丸囃子が、踊りや歌、和太鼓演奏などを披露して、会場に華を添えました。

れんげ畑では、稲城を中心に活動するミュージシャンたちが演奏し、うららかな春の風に乗って、唄が穏やかに流れていました。

サポートセンターが
出店したオープンカ
フェも大好評!



5月4日、5日の2日間、城山公園の広場で開催されました。

多摩ニュータウン開発により新しく市民になった人たちの交流促進のため、都や公団からの助成を受け、「ガーデンシティ稲城」として始まったイベントが前身。その後、補助金等がなくなり開催が危ぶまれた時に、市民の熱意により、企画から運営までの全てを「手づくり」で行う祭りとして生まれ変わり、稲城の恒例行事となりました。

会場は、フリーマーケットと有志の団体による飲食などの模擬店、ステージのパフォーマンスで賑わいました。

来場者たちは、ステージパフォーマンスやフリーマーケットを楽しみながら、飲んだり食べたりおしゃべりしたり、思い思いの休日を過ごしていました。

稲城手づくり市民まつり

▼市長も参戦！ジャンケン大会



いなぎ森フェス2014



←「みんなアリガトウ！」「また来年に繋げよう！」
いつまでも名残り
尽きなかったファイナーレ

新緑の里山で自然の恵みと音楽を満喫するイベント「いなぎ森フェス2014」が、5月25日に南山の西部地区で開催されました。地元・稲城を盛り上げようと、市内で活動するNPOや市民グループ・事業者、稲城を拠点とするアーティストなどが一堂に集まり、手作りのイベントを行いました。

山林に点在するステージや広場では、音楽の演奏をはじめ、ヨガ・体操、アクションショー、ウォークラリー、アスレチック・ハンモック、里山写真展、野点、畑での農業体験、スロートーク等のプログラムが行われ、初対面の人同士が世代を超えて交流する姿があちこちで見られました。

主催者目標を大幅に上回る800人以上の来場者があり、里山の風と光を楽しんでいました。



→ 緑と風と光を満喫しながらのスロートーク

市民活動支援基金による 今年度の助成団体は...

- ①＝助成の種別 ②＝助成額
③＝基金の資金提供元 ④＝活動内容など

■稲城はたらくママの会

(代表 荻野美鈴さん)

- ①スタート助成 ②50,000円
③NPO《子どもの森》芸術文化振興基金
④子どもを中心とした暮らしの中での、ママのリアルな目線で発見した稲城の「楽しい」「便利」「美味しい」お店や場所の情報を掲載したマップを製作する。

■だんらん 向陽台

(代表 竹田良子さん)

- ①スタート助成 ②50,000円
③サポートセンター市民活動支援基金
④地域の人たちが顔見知りになったり、困った時に助け合える関係をつくるために、毎月第4水曜日の午後に、賞賛リベリの集会所で、だんらん向陽台を開催している。

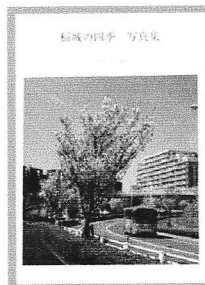
■フォトクラブいなぎ

(代表 齋藤茂さん)

- ①ステップアップ助成 ②50,000円
③NPO《子どもの森》芸術文化振興基金
④「仮称・稲城かるた今昔」を作成し、市内11か所の小学校に寄贈する。

フォトクラブいなぎが 写真集「稲城の四季」を発行 ～昨年度の助成金で～

昨年度、フォトクラブいなぎは、NPO《子どもの森》芸術文化振興基金から5万円の助成金を受け、それを財源に、写真集「稲城の四季」とDVD「我が愛する街 稲城百景」を作成しました。



写真集は当センターの他、市内の各市立図書館に、DVDは市内の高齢者福祉施設等に寄贈しました。

素敵な映像が満載ですので、機会があったらぜひご覧になってください。

編集後記

稲城は、外から見るのと中から見るのとでは、大きく違いますね。外から見た稲城は、梨と葡萄の産地、多摩ニュータウン、といった静的なイメージでしょうか。

問題意識を持ち、自発的に行動する人やイベントに溢れた活発な地域であることが分かります。

これからも、そんな人たちの思いや取り組みを、相互に繋げていきたいと思えます。

(種田)

NPO《子どもの森》芸術文化振興基金とは

地域の活性化と教育力の充実をめざし、子どもたちの芸術文化活動および健やかな育ちの環境づくりに寄与する芸術文化の振興を目的に設けられた基金です。
(代表：荒木重雄さん、専務理事：角田亨さん)

NPO法人「市民活動サポートセンターいなぎ」の会員を募集しています・・・年会費3,000円